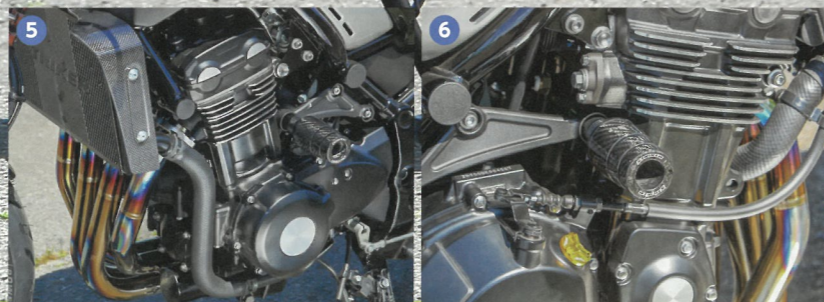


# Z900RS SZ-020

## バリエーションでも楽しめる コンプリート・カスタム車

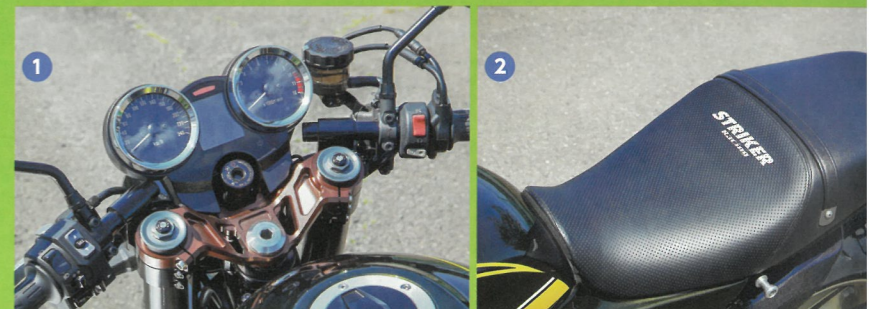
TIRE: MICHELIN POWERS [F]120/70ZR17・[R]190/55ZR17



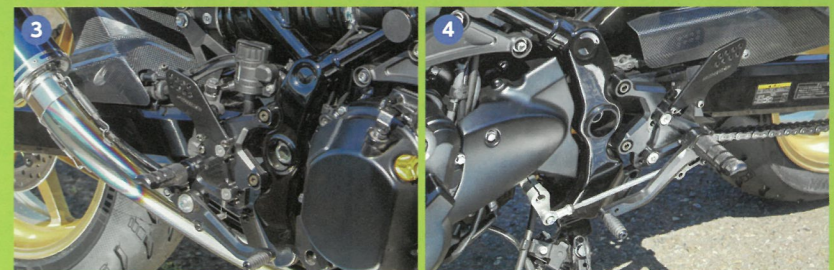
5 6 エンジンやフレームまわりはZ900RSそのまま、外装のタイガーカラーも純正色(オプションでボディカラーの変更も可能)。シリンダー後ろ側に装着されるガードスライダー(この車両ではカーボンを選択/要追加料金)、ラジエーターコアガードはベーシックパッケージのメニュー。この車両では別にECUチューニングも行ったという

こうストライカーワークスの店長・鈴木さんが言う車両。元々Z900RSは新辰朗さん主宰のカラーズインターナショナル/ストライカーブランドが手を入れるべきバイクだとしてパーツを開発。そしてフロントの挙動を落ち着かせるべく開発したセパレートハンドルキットやチャンエキゾースト、ステッピットや他にないピレット3Dルックのフエントアレスキット、ガードスライダーやオリジナルカスタムシートが揃ったこと。これにユーザーからの、これらパーツを装着したコンプリート車への要望があって、19年半ばに展開を始めたのが、SZ-019(020は20年製作車両)だった。ベーシックパッケージで198万円(税込)という価格は、内容を見ればとてもリーズナブル。この車両ではオーナーが先に使いたいタイヤ(ミシュラン・パワー5)があり、それに合わせてホイールを決め、タイヤのリリースを待って製作に至ったといい、ここが第一形態としての完成形。もちろん、ここからさらにカスタム化を進めることも問題なし。

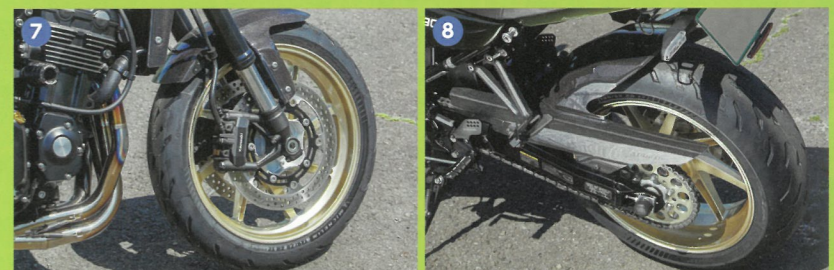
既に5台を超える車両が送り出され、オーダーも引き続き入っているというこのSZ、Z900RSに興味があるなら注目の1台と言える。



1 2 この車両ではG-STRIKERセパレートハンドルキット+アンダーブラケットSETのブラウン(Z2タイプショートミラー込み)を選択。フロント荷重を増やしてZ900RSの乗り心地を大幅に改善する重要パーツともなっている。シートは表皮張り替えとロゴ変更を行ったオリジナルカスタムでSZ-020のベーシックパッケージメニューに含まれている



3 4 ステップはスポーツツーリングコンセプト"STC"ステップキットで、オリジナルタンデムステップバーとともにベーシックパッケージに含まれる。カーボンリヤフェンダー/フロントフェンダー、カーボンラジエーターシュラウドはストライカーエアロデザインSADで、SZ-020のカスタムプランで追加された。こうした発展性があるのもSZ-020の魅力のひとつ



7 8 9 フロントのφ41mm倒立フォークや水平バックリンクのリヤサスはノーマルで、ブレーキシステムもすべてノーマル。SZ-020ではサスチューニングまたは換装、ブレーキ換装もカスタムプランのメニューに設定。ホイールはゲイルスピードTYPE-Eで3.50-17/6.00-17サイズ。タイヤはオーナーが先に選んだミシュラン・パワー5で、こうしたタイヤ変更もカスタムプランで可能。またマフラーはストライカー・ストリートコンセプト・チャンフルエキゾーストだが、撮影時はサイレンサーをストライカーワークスエプレンのレース用に変更している



「この車両は当店のZ900RSカスタムコンプリート車、SZ-020として製作したものです。基本のベーシックパッケージのうち、選択制となっている部分はセパレートハンドル&アンダーブラケットセット(もうひとつの選択肢はGストライカー・スイングアームを選んでいただきました。さらにオプションとなるカスタムプランとして、社外ホイール(ここではゲイルスピード・Type E)と前後フェンダー(同じくストライカーSAD)を加えています」

まずはの完成形を入手し  
今後の変化のベースに